

東京交通新聞

東京交通新聞社

〒160-0022
 東京都新宿区新宿2-13-10
 電話(代) 03-3352-2181
 編集 03-3352-2182
 出版 03-3352-2183
 販売 03-3352-2184
 広告 03-3352-2185
 FAX 03-3352-2186
 編集発行人 仁平英紀
 振替口座東京00110-7-52616
 ©東京交通新聞社 2022

運協
自理
本管
日行

山口新会長が第一声

新年会「コロナ後見据え活動」

日本自動車運行管理協会は12日、東京・目黒のホテル雅叙園東京で新年賀詞交歓会を開き、1日付で就任した山口哲也新会長(日本道路興運社長)が初行事でデビューを果たした。山口氏は「新型コロナウイルスによって世の中が変化している。コロナ後を見据えた活動に取り組みたい」と語った。今年3月に控える協会設立30周年については「コロナ禍で活動が制限される中、何かできるかとなると、なかなか難しい」と述べた。



壇上に並ぶ山口新会長(右)と大槻前会長(12日、東京・目黒)

新しい人を中心にまとまってもらいたい」と呼びかけた。

5期目の途中で退いた前会長の大槻光雄氏(共進社長)横浜市があいさつし、「デジタル化の加速など新しい時代には、昭和の頭ではついていけない。次の世代にバトンタッチするのが

役目と考えた。新しい年に

中締めで大槻氏は「新会長が就任した記憶に残る新年会としたい」と述べ、初代会長・野口勇氏(大新東)の経営哲学が盛り込まれた講話を讀み上げた。

来賓として、国土交通省の坂田則義・自動車局旅客課地域交通室長、警察庁の川瀬優介・交通局交通企画課長補佐、経済産業省の三浦聡商務・サービスグループサービス政策課サービス産業室長が出席。

坂田氏は自家用有償旅客運送制度を挙げ、「実施主体の自治体に運行管理のノウハウを提供できる制度を創設した。地域の足の確保

についても活躍の場を広げてほしい」と期待した。三浦氏は「生産性を上げることが課題。顧客にサービスを評価してもらい、価格に反映できるように一緒に考えていきたい」と話した。川瀬氏は、安全運転管理者による飲酒検査義務化への対

応を求めた。
 「コロナの感染拡大を考慮して、飲食の提供を急ぎよ中止した。」